

事務連絡
令和5年2月21日

各（都道府県）
（市町村）
（特別区）
衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への
協力依頼について（周知）

予防接種行政につきましては、日頃より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おたふくかぜワクチンについては、平成24年5月にとりまとめられた「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」において、広く接種を促進していくことが望ましいワクチンの1つとされ、定期の予防接種に位置づけるかについて検討を進めてまいりました。その検討の中で、令和2年1月の第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会において、おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度に関し、データが不十分であり、さらなる調査が必要とされました。そのため、令和3年4月1日より、公益社団法人日本小児科学会および新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業の研究班が合同で、おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査を実施しております。(※)

現在、既に多数の医療機関にご協力いただいておりますが、本調査が令和5年3月をもって終了することも踏まえ、より多くの医療機関にご協力いただく必要があるところです。つきましては、管内の医療機関に当該調査に係る周知方、お願いいたします。

以上

(※)おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査についての詳細な説明は、適宜下記のURLよりご確認ください。

<https://mumps.children.jp>

また、登録方法については、添付の資料をご参照ください。（添付の資料については、2023年2月中に、日本小児科学会から日本小児科学会会員宛に郵送される予定とのことです。）

Mumps Vaccine Safety Database への入力について

ご協力いただいた被接種者の情報は、以下の手順に従い入力してください。

1 調査用Webサイトにログインする

- ① 調査用Webサイトにアクセスする
サイト名「Mumps Vaccine Safety Database 副反応報告集計」

Mumps 集計 検索

<https://mumps.children.jp>



- ② 画面右上「ログイン/新規調査協力医師」をクリックし、ログイン画面へ移動する

調査協力医へ登録済の場合

メールアドレス、パスワードを入力してログインしてください。



すでにパスワードをお持ちの方はこちらからログイン

調査協力医メールアドレス

パスワード

ログイン

Ver.1.2.12

[パスワードを忘れた方](#)

この調査に協力していただける医師は、まず連絡のために使うメールアドレスを入力して下さい。
調査協力医を登録するページのURLをお伝えします。

※メールアドレス:

調査協力医へ未登録の場合

メールアドレスを入力し、調査協力医の登録手続きをお願いします。

2 マイページ上部から二次元コード印刷画面へ移動する

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

マイページ

ようこそ、多摩聖子 (神奈川県 多摩) 様

■ マイページ ■

○ ログイン医師名: 多摩聖子 (ktaya@nih.go.jp) プロフィール修正 **QRコード印刷** 質問とお答え(QA) ダウンロード

所属: 神奈川県衛生研究所

■ 新規接種例登録 - 【電話法】で接種後4・6週間の副反応を調査協力医自身が報告する場合はこちらで登録を開始して下さい。【QRコード法】で保護者のQRコード読み取りにて副症状報告を受ける場合は、まず上の「QRコード印刷」をクリックしてあらかじめQRコード用紙を印刷、そして接種後に保護者に半分を渡し、新規接種例登録をして下さい。

● 接種例の一括インポートはこちら

接種した期間を確認して下さい。子の期間におかたぬけの子のワクチン接種した個を表示します。

- ③ 二次元コード印刷はこちらをクリック

3 二次元コード報告用紙を印刷し、保護者へ渡す

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

■ QRコード印刷 ■

感染研 多屋

QRコード報告用紙の利用について

保護者から副反応は無かったことを、簡単に報告してもらえ手順を準備しました。報告日(接種4,8週後)に保護者が用紙のQRコードをスマートフォンで読み取ってもらえば、副反応はなかった事がデータベースに報告されます。

QRコード報告用紙には、印刷時にデータベースが未使用のIDを作り出して、毎回すべての用紙に唯一無二のIDがそれぞれ印刷されています。一人の被接種者につき一つの用紙をお使い下さい。

【利用の重要ポイント】

- 被接種者ID用紙が足りなくなれば、毎回マイページから、必要枚数を選びダウンロードして下さい。
- 例えば10人分が必要なら、10枚を選びダウンロードして下さい。
- 印刷枚数は毎回必ず「1枚」にしてください。

【注意！】以下の利用・操作は決して行わないようにして下さい。

- × 用紙が足りなくなったので、過去にダウンロードしたPDFを、再度印刷して使う。
- × 既に印刷してある用紙をコピーして使う。
- × 印刷枚数を「2枚」以上にすると。

印刷したいQRコードの枚数を指定して、「印刷実行」ボタンをクリック。クリック後PDFが読み込まれて、印刷枚数は1枚です。印刷していただき、印刷枚数が不足している場合はPDFが表示されるまで少し時間がかかります。

印刷枚数 10枚

④ 必要な枚数を選択し、印刷する

報告用紙見本

実際の報告用紙の画像

保護者用控え | 医師が記入

注意

IDが重複するため、報告用紙の印刷は必ず被接種者一人あたり1部とし、コピー機などで複製しないでください。

4 マイページから新規接種例を登録する

⑤ 画面上部「新規接種例登録」をクリック

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

■ マイページ ■

ログインID: 多屋多子 (kayako@nhigo.jp) プロフィール修正 QRコード印刷 質問とお返事(AQ) ダウンロード

■ **新規接種例登録** ■

【注】で接種種4・8週間の副反応を調査協力者が自身が報告する場合はご自分で登録を開始して下さい。【QRコード法】で医師からのQRコード読み取りにて新規接種例を受け付ける場合は、まず上の【QRコード印刷】をクリックしてQRコードを印刷し、接種後に保護者に配布していただき、新規接種例登録をして下さい。

■ 自院接種データ閲覧 ■

● 接種4週間後の報告

接種した期間を選んで下さい。その期間におたふくがワクチンを接種した例を表示します。

○ 2022年 第1月の接種例を [抽出する]

⑥ 接種時に記入した「被接種者登録カード」の内容を入力する

保護者に渡した報告用紙に印刷されている被接種者IDを入力してください

被接種者ID: 20221110

入力例: 2021115 または 2021/1/15

接種時年齢: 1歳 0か月

性別: 男 女

※11期相当の年齢で初めて接種されても「1回目」を選んでください。

○ 1回目 ○ 2回目 ○ 3回目以上

接種ワクチンメーカー: 武田薬品 第一三共

メモ: 400字以内

メモがある場合は入力し

入力完了したらクリック

確認ページへ進む

電話/対面で副反応の有無を確認する場合

二次元コードを利用せず、電話や来院時に副反応を確認する場合は、「新規作成」ボタンをクリックして被接種者に割り振るIDを発行してください。

被接種者の登録は以上となります。ご協力ありがとうございました。